

平成29年5月31日

各位

株式会社 徳
ノリックス株式会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

さて、私どもの仕事も冬から春にかけての繁忙期も終わり、やっと一息つく時期となりました。しかしながら今まで忙しさの為に出来なかった様々な業務、年末のおせち料理の販売計画とその準備、それぞれの支店の作業改革や本社新館完成に伴う新たな価格帯の商品の策定など、この時期にしか出来ないコトを綿密に且つスピード感を持って現在行なっております。

個人的な事ですが今月末に宮城県の石巻を訪問してきました。仙台から電車で約1時間の漁港の街の石巻市(人口11万人)は2011年の東日本大震災で最も大きな被害のあった地域の一つで2000人以上の市民が亡くなり、街全体が廃墟となり、漁港や船は全滅の被害に遭われました。

被災を記録した記念館や被害を受けた海岸沿いを視察しながら、いろいろな方にお話をお聞きする機会がありました。震災から6年経つ今でも復興は道半ばで、小さな仮設住宅に住む方もまだまだたくさんいました。震災の前から景気も悪く過疎化し、観光資源のない街にはシャッターの閉まった商店街だらけでした。夜に地元のお寿司屋さんを訪問したところ、そちらも津波の被害にあい、数日間は救助隊も来ないし食べるものもなく自分の命をつなぐことだけで精一杯な極限状態が続き、家族や親戚、周りの知人がたくさん亡くなった知らせが入る中で、祈る以外はどうする事も出来ない状況だったと言っておられました。

しかしながら被災後にたくさんのボランティアや支援者が石巻を訪れるたびに少しでもお役に立てるようと思い、震災から3ヶ月後にお店を再開されたそうです。石巻を訪れる方が一人でも増えるように地元で穫れる「ホヤ」「ぶどう海老」「赤貝」などの新鮮で高級な食材を驚くような安い価格で提供し続けておられました。人生の中で姿形は違えども、どうやってもがいてもダメな「そのとき」というのが必ずあります。「そのとき」が来たときにどういった心構えで対処するかが、その人の真価が問われるときであると学びました。

【徳の経営理念】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

【徳のモットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世の為、人の為～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々